

女性の視点を踏まえた避難所運営について（専門会議や地域の訓練等における主なご意見）

項目	主なご意見	対応方針等
組織運営・役割	・組織運営（避難所運営委員会等）における女性の割合を増やす	・地域の会議や訓練等において、女性の登用や体制について協議検討を実施
	・役割を性別で分けず協働して行う（炊出し等）	
	・女性特有の物資については女性が配布する体制	
備蓄物資	・乳幼児用品（ミルク、おむつ、離乳食など）の充実	・大阪市備蓄計画に基づき、区役所や備蓄拠点に備蓄している物資を活用 ・防災訓練や広報紙、全戸配布資料等で自助の必要性を啓発
	・女性用品（生理用品など）の充実	
スペース	・トイレの充実	・簡易トイレは避難所に12基配備、既存のトイレ（本体）も活用 ・汚物処理セット（凝固剤、ビニール袋）は各避難所1,600セット配備 ・備蓄物資の優先順位を検討し、予算措置を検討
	・プライバシーの確保（男女のスペースの分離や仕切り等）	・レジャーシートやテント等を活用 ・地域や施設管理者とスペースの協議
	・マタニティ、授乳室などの確保	・小中学校はほぼすべて確保済 ・令和5年度授乳室等で使用する「テント」「簡易ベッド」を配備（予定）
	・男女別更衣室の確保	・設置場所の検討（地域や施設管理者と協議）
	・女性が使用する日用品の配布場所	・設置場所の検討（地域や施設管理者と協議）
	・物干し場の確保	・設置場所の検討（地域や施設管理者と協議）
防犯	・明かりの確保（投光器やランタンなど）	・令和4年度「マルチパネルランタン」を配備 ・令和5年度「LEDランタン」「LED投光器」「発電機」を追加配備予定
	・見回りの際の体制を検討	・複数体制や男女ペアでの実施等、有効な見回り体制を検討
その他	・すべて避難所に備蓄することは困難であるため、特有の物資については特に自助を心掛けるべき	・防災訓練や広報紙、全戸配布資料等で自助の必要性を啓発 ・女性だけでなく、高齢者や障がい者、ジェンダー、外国人など配慮が必要な方は多種多様であるため、臨機応変な対応ができるよう地域等と協議検討を実施
	・特定の避難所を配慮が必要な方専用の避難所とする	
	・男女だけではないので、さまざまな方が選択できるスペースの確保	
	・すべての基本はお互いを思いやる気持ち	
	・特定のニーズに配慮しすぎることも注意が必要	
	・程よい距離間で選択肢があるような合理的配慮	

女性の視点を踏まえた避難所運営等にかかる住吉区の取組状況（令和4年度）

実施時期	対象者等	実施内容
6月29日	防災専門会議	・女性の視点を踏まえた避難所運営について取組内容等の説明
9月～11月	各地域活動協議会	・女性の視点を踏まえた避難所運営について取組内容等の説明 ・避難所開設運営模擬訓練 ・アンケート
10月18日	依羅地域活動協議会女性部	・防災講話（防災基礎知識及び、女性や子どもに配慮した避難所運営） ・アンケート
10月26日	防災専門会議	・グループディスカッション （女性の視点を踏まえた避難所運営について）
11月12日	全地域、区職員等	【総合防災訓練】 ・重点項目として「女性の視点を踏まえた避難所開設運営訓練」を実施 ・アンケート
11月24日	山之内地域女性防火クラブ	・防災講話（防災基礎知識及び、女性や子どもに配慮した避難所運営） ・アンケート
12月4日	荻田南地域活動協議会女性部	・防災講話（防災基礎知識及び、女性や子どもに配慮した避難所運営） ・アンケート
12月16日	長居地域活動協議会女性部	・防災講話（防災基礎知識及び、女性や子どもに配慮した避難所運営） ・アンケート